Medical Prep School

北大・医大進学塾

2024 春期講習

新高2・3生
高卒
再受験生

『春は「基礎力」の確認と
「学習法」を確立せよ
それが合格に直結する』

＜合格は学習環境で決まる＞

受験のプロ集団。ここに集結。

道内最高のプロ・スタッフが
「少人数授業」＋「個人指導」による
合格指導を展開しています

講習目標－「基礎力」の確認＆「学習法」の確立

春期講習は、国公立大･私大の医学･医療系学科および北大をはじめとする難関大の合格を目指す新高2･ 3生、高卒･予備校生、そして再受験生を対象としています。

志望校合格のためにこの時期にすべきことは、「基礎力」の確認と「学習法」の確立です。特に医学部や難関大を志望する受験生は、早期に英数理を武器科目にし本番で高得点を手にする必要があります。

４月から本格的な勉強が始まりますが、この１年間で学力を飛躍的に上げるためには「基礎力」を万全にしておくことが必要です。そして、ムダがなく効率のよい「学習法」を確立しておくことも大切です。春期講習はこの「二つのテーマ」を中心に授業を進めていきます。このテーマを中心に実施される春期講習は、来春の合格のためにとても重要な講習と言えます。

本塾では、受験に精通した経験豊富なプロ講師が皆さんを指導しています。また、北大卒の現役医師である塾長に少しでも不安なことがあれば相談してください。受験生の皆さん、合格への出発といえる春期講習を受けて、来春の栄冠を手中にするために本塾のスタッフと一緒に頑張りましょう。

日程一覧

■3/30～4/2（4日間）

1限	14:30～16:00	北大･医大物理
2限	16:15～17:45	北大･医大数学
3限	18:00～19:30	北大･医大化学
4限	19:45～21:15	北大･医大英語

※開塾は4日間とも14:00となります。
※やむを得ず開塾時間が変更になる場合があります。

講座内容

■北大･医大英語

目標とする志望校のレベルが高くなればなるほど、単なる単語のつなぎ合わせで文章を理解することは困難で、文法の確実な知識が絶対条件となります。本講座では、ともすれば軽視されがちな文法必須項目「前置詞」「代名詞」などを深く学習し、実際の英文を通じて徹底理解をはかります。これから1年間で学習する20以上の文法項目の大切な出発点となるもので、この機会を逃すと、学習のチャンスを失うことになります。読解にせよ作文にせよ、十分な英語力をつけるためには文法力の構築が不可欠の条件であることを銘記してください。

■北大･医大数学

本講座は数学ⅠA･ⅡBの入試頻出分野を中心に、数学の基礎を築き上げるために必須となる最重要テーマを扱っていきます。数学が苦手な受験生はもちろん、得意な皆さんも、何となく問題が解けるのでは入試には勝てません。最初の設問を大切にし、その誘導を後半にどう活かすのかを考える習慣が必要であると共に、解法理論を明確に理解することが合格のために最も必要なことです。この講座で頻出問題を完全に理解すると、難度の高い難関大の問題解法の糸口がみえてきます。難関大数学攻略のための必須講座です。

■北大・医大化学

本講座は受験生の苦手とする理論化学を中心に扱います。理論分野は化学を攻略する上で避けては通れない最重要分野で、特に難関大や医学部受験では大きく差のつく分野です。また一人で学習を進めるのは大変な分野であり、プロ講師に体系的に効率よく習うことが時間の限られた受験生には最も効果的です。本講座は、これから難関大や医学部受験の学習を進める上で受験生が理解しなくてはならない部分を中心に授業展開していきます。

■北大・医大物理

近年の物理は解法の丸暗記で攻略できる問題は少なくなり、「なぜそのような物理現象となるのか」という本質的な理解を必要とする問題が増えています。そのため表面的な学習ではなく、物理現象の本質を理解する学習が必要です。二次試験だけでなく共通テストでも同様の傾向が見られ、真の理解を深める工夫が必要です。物理のすべての分野の基本は力学です。そのため本講座では、物理攻略の基本である力学を中心とする理解を深め、今後の学習のステップアップを図ります。難関大・医学部の攻略に欠かせない重要講座です。

■教室
電子黒板を使用して授業を行っています。

■本棚と個別指導コーナー
赤本や教材がたくさん！塾生は好きな時に
好きなだけ閲覧することができます！

早めが吉！

医学部・難関大受験に特化した
学習方法やスケジューリング指導の
【受験コンサルティング】も実施中！
個別指導との組み合わせも！

北大・医大進学塾の特徴

◆受験に精通した学習指導講師

医学部などの難関大の合格には高い学力が必要となります。それを達成するには受験に精通した講師の指導が不可欠です。複雑にからまった知識をきちんと整理をして理解させ、それを入試で引き出させる指導力が必要です。面白く分かりやすさを優先する授業は、必ずしも学力が上がるとは限りません。学力を上げてくれる本物の講師は努力をして常に高い知識を維持していることはもちろん、受験生の学力の弱点を分析できる能力を持ち、そして受験生一人一人に情熱をもって指導する、いわゆる教育者なのです。本塾ではそんなプロ講師が全力をあげて合格指導をしています。

◆独自の「少人数授業」＋「個人指導」体制

学力を上げるために最も効果があるのは、「少人数授業」+「個別指導」です。少人数授業は緊張感があり集中力が養成されます。そして受験生の心に競争意識が芽生えます。本塾では質問を大歓迎しています。授業の前後に講師へ質問を十分にすることができます。講師陣との触れ合いで、停滞している学力を短期間で飛躍的に伸ばすことができます。高校や予備校の授業、自分で持っている教材で分からないことを質問してもかまいません。本塾は長い経験から得た合格への最高の環境を提供しています。

■個別指導
授業を教えてくれる先生に直接すぐ聞けるのがポイント！

◆自習スペースの利用

自習スペースは開塾時間中であればいつでも利用することができます。授業がない日でも自習をしてかまいません。また、その際に講師への質問もすることができます。本塾ではあえて一人一人囲った自習机を使用していません。本番と同じ状態での勉強に慣れておくことが大切だからです。

◆受験コンサルティングを実施

医学部・難関大受験に特化した勉強法の指導、学習スケジュールの立案・調整・確認で合格へ導きます。『今の自分の勉強法で合格できるんだろうか？』『学習スケジュールはこれでいいんだろうか？』など自分ひとりで悩みを抱え込まず経験豊富な講師と一緒に受験を乗り越えましょう。

◆経験豊富な進学指導講師

医学部などの難関大は、学力が高ければ合格するとは限りません。模試A判定で不合格となり、E判定で合格することも珍しくありません。どんな結果にも理由があります。高校や予備校のカリキュラムに乗っているだけでは合格できません。自己を客観分析した独自の学習計画と自主的に学習に取り組む姿勢が合格には必要です。札医大がC判定なら全国の多くの大学がC判定となります。しかし合格率は現実には同じではありません。各教科の学力や特性によってCがAやEになるのです。進学指導はとても重要で、本塾では現役医師である塾長や進学校で豊富な進路指導経験を持つ講師が、多角的に進学指導をしています。

◆目標大学に合致したテキストを使用

学力を大きく上げるには使用するテキストがとても大切です。市販の問題集や予備校・塾でみられる全国一律の共通テキストでは、受験生によっては必ずしも効果があがりません。すべての勉強はつながっています。共通テストも考慮して、常に基礎を確認しながら高レベルまで学力を引き上げるテキストが不可欠なのです。本塾では、経験豊富な講師陣が問題を精選したオリジナルテキストを使用しており、毎年入試本番で数多く問題を的中させています。

◆実戦演習指導を実施

本塾の理系講座は、授業中または終了後に実戦問題演習を実施する場合があります。授業の理解度を確かめ応用力を養成するには、この学習方法が最上といえます。また答案の書き方も学ぶことができます。そしてこの実戦演習は、本番への試験慣れや解法のスピード感覚を鍛えるという訓練でもあります。これは本塾独自の指導方法です。

◆面接・小論文の受験指導を実施

医学科入試では、共通テスト、面接、小論文、総合問題など多彩な内容になっています。つまり適性を重視した独自の指導が必要となります。本塾では現役医師と進学校での指導経験豊富な講師が面接・小論文対策指導を実施しています。

◆個別指導は講師全員医学科生

本塾の個別指導講師は全員医学科生です。(プロ講師をご希望の場合も承ります。)北大や札医の医学科生を中心に、学力はもちろん内面も選りすぐりの講師陣です。集団授業と個別指導をうまく組み合わせて苦手科目をなくし得意教科を伸ばしましょう！

講師紹介

■品野健一　先生（英語）

東京教育大学（現筑波大）英語学科卒業後、多くの進学高校で教鞭をとる。札幌南高校在職時には、生徒から「品塾」と呼ばれ、輝かしい実績を残し、その指導には絶大な評価と人気を得ていた。その後、大手予備校に移り、主として東大や医学部をはじめとする難関大学の指導にあたってきた。

長い経験に培われた深く幅広い知識と、明快な理論に裏付けされた授業は素晴らしく、受験生から絶大な信頼と人気を得ている。個人指導もとても熱心で、受験生からの信頼は極めて厚い。授業は生徒の理解度をみながら、重要事項を何度も解説していくため、授業予定時間を超えることもある。先生の英文読解や英作文指導の根底には常に正しい英文法があるが、これは高得点の源であるからである。

受験英語の指導においては、他の追随を許さない道内最高の存在である。

■岸田諒　先生（数学）

北海道大学理学部生物学科卒業後、同大学大学院生命科学院博士において最先端科学分野を学ぶ。生命科学を中心とする理数分野の面白さに学部学生の頃から強く惹かれ、大手学習塾などで数学・化学を中心に教鞭を執る。最先端生命科学領域で日々実験・論文活動も行っている現役の科学者であり、そのため最新の受験問題に出題されやすいトピックに非常に敏感である。これを受験生が理解しやすいレベルで説明することができるため、これまで指導してきた受験生は口々に「数学が好きになった」と言う。

温厚な人柄で、質問の対応も丁寧親切であり、受験生からの信頼も非常に厚い。どんな基本的な質問でも、ゼロから親身になって教えてくれる。そのため数学に苦手意識を持つ学生の救世主となっている。「授業では受験会場で初めて見た感覚で。」「予習は正確に。精度が先。スピードは後。」を方針に、基本的な問題を大切にし、その一問を深く理解して本番で応用できる指導を心掛けている。

■大久保政俊　先生（物理）

北海道大学理学部物理学科卒業後、同大学院博士課程で原子核理論を学ぶ。その後、道立理科教育センターを経て札幌南高校などの札幌市内進学校で教鞭を執る。基本を忠実とする授業に始まり、本番を意識した入試問題までを丁寧にわかりやすく解説する。「大久保先生の授業を聞いて物理が苦手科目から得意科目に変わった！」という学生を頻繁に目にする。入試問題への研究姿勢を持ち続け、各大学の入試問題に潜む高度な物理的思考を真の理解にまで高める授業展開を行う。解法の丸暗記では到底太刀打ちできない医学部入試物理を、本番でも得点源になる理論に裏付けされた確かな物理へと全受験生を導いていく。

困っている学生を決して見捨てず、「わかる」「できる」という真のレベルにまで高める指導法は学生から非常に高く評価されており、決して単一ではない物理の学び方を個々の学生に合わせた指導で医学部合格へ確実に近づけていく。

医学部合格へのステップとなる物理を合格確実ラインまで引き上げてくれる頼もしい存在である。

■長田淳　先生（化学）

北海道大学理学部化学科を卒業後、同大学院博士課程で有機化学を学ぶ。その後、札幌市内・市外の進学校で化学を中心に物理、生物、地学などの指導も行い、北大をはじめとする難関大に多くの合格実績を有する。

どんな複雑な問題も基礎・基本を大切に丁寧にわかりやすく解説するため、苦手意識の克服のみならず、最後には得意科目へとステップアップする学生も多い。押さえるべきポイントや解法論理をきちんと理解することで、これまで丸暗記に見えていた分野も実は理論的に解釈できるという化学の本質を教えてくれる。また、温厚な人柄であり生徒からの絶対的な信頼を築いている講師である。

■矢ヶ部俊彰　塾長

北海道大学医学部医学科卒の現役医師、元医学進学塾生。地方高校から2年間本塾の学び舎で本気で勉強し、第一志望に合格した。自身の経験から、受験生の学力面でのサポートのみならず、精神的なサポートも含めたトータルケアを実践する。客観的な分析と、実際に複数の医学部医学科に合格した経験・ノウハウを学生に積極的に還元していく。誰に対しても壁を作らない気さくな性格であり、思いやりのある的確なアドバイスを提供してくれる。

実際に医学部に合格した経験と失敗した経験、苦学生であった経験、そして現役の医師である経験を存分に活かして、学生・保護者の今と未来に実直に向き合う。

学費

1講座　29,700円（税込）

※学費にはテキスト代、配付資料、学習指導、進学指導、暖房光熱費等を含みます。

注意事項

1. 各講座は8名限定のため、定員になり次第締切りとなります。
2. 欠席した場合でも学費の返金はできませんので、事前にご了承ください。
3. 開塾時間は、原則として1限の授業開始時間の30分前となっています。
   事情により時間が遅れることもありますので、事前にご了承ください。
4. 授業録画による後追いビデオ学習はできませんのでご了承ください。

塾長メッセージ

医学部合格のさらにその先へ

　北大・医大進学塾は医学部に合格するのはもちろんのこと、さらにその先の「医師になる」というプロセスも見据えて学生の指導を行っています。現役医師が塾長を務める北大・医大進学塾だからこそできる「医学部合格への具体的な展望」を共有し、将来同じ医療現場で働く医療チームを支える「仲間」を輩出する最高の学習環境がここにあります。

合格への情熱を持て

　北大・医大進学塾は少人数の授業をとても大切にしています。それは医学部や難関大を目指す皆さんの一人ひとりをしっかりとサポートするためには、ある程度人数を限定する必要があるからです。講師は道内の受験指導において、最高の先生に集まっていただきました。受験は自分に適した環境を選ぶことから始まります。そして最も必要なのは、皆さんの「合格への情熱」です。そういう意味では受験は自分との戦いなのです。情熱を絶やさず、最高の講師陣と最高の学習環境のもとで一緒に頑張りましょう。

医療人としての心を育む

　将来医療現場で働くことをイメージしてください。そこには多くの不安や悩みを抱えた患者様と接する皆さんの姿があります。真の医療人とは、そういった不安や悩みに親身に寄り添い、仲間を大切にし、常に新たな知識を学び続けようとする姿勢が求められます。北大・医大進学塾では、医療人として必要不可欠な他者への思いやりや学問に対する考え方を身につける場でもあります。同様の志を持つ仲間と切磋琢磨できる最高の学習環境が北大・医大進学塾には揃っています。

合格体験記

旭川医大（医－医）合格
山村旺介さん（札幌西高校）

志望校を決める時期である2年生の後期、私はやっと医学部に向けて本気で勉強を始めようと決意しました。そのまま3年生になり勉強を始めようとしましたが、何から手を付けるべきかもわからず途方に暮れ親に相談したところ、兄が通っていた北大・医大進学塾を勧められ、ある日親と塾に訪れてみました。それが私の人生の大きな変わり目でした。軽い気持ちで訪れたにも関わらず塾長が親身になって面談してくださり、自分の勉強プランというものが初めて見えました。そこで今までにないほど勉強の意欲が湧き、この塾でなら本当に医学部に合格できるかもしれないと考え入塾することに決めました。 実際に入塾し講義を受けてみると、見える世界がそれまで見えていたものから大きく変わりました。私は数学と英語の授業を受けていたので、その2つについて具体的に話していきたいと思います。

数学の授業で扱う問題は良問が多く、色々な分野を幅広く学習できるため応用力というのがかなり身に付きました。問題のレベルとしてもギリギリ自力で解くことができないくらいなので、予習をしたときに一番自分の力が伸びていると感じました。 実際この授業を受けたおかげで、学校の授業で扱う問題ですら危ういものがあった私でさえ、最後には東大の簡単な問題を解けるようにまでなりました。

英語の授業では「前から読む」ということも沢山言われます。前から読むというのは簡単ではなくトレーニングがかなり必要ですが、それができるようになれば英文をいちいち後ろから読み返さずに済むので、文章を読む時間を短縮でき、単語の読み飛ばしも減り正確に日本語訳ができるようになります。このおかげで最後にはどんな大学の英文でもほとんど読めるようになり、英語が一番の得意科目となりました。

英語も数学も本来は実力を伸ばしにくい科目だと思うのですが、素晴らしい先生である品野先生と岸田先生のおかげで医学部合格レベルにまで実力を上げることができ、とても感謝しています。

最後に、受験勉強では新しい知識を得ると同時に自分の弱点を見つけ直す良い機会でもあります。特に医学部受験では色々苦労することが多いとは思いますが、困ったときはぜひすぐに諦めるということなく友達や周りの大人に力を借りてみてください。私も周りの方々に力を借りなければ確実にここまでは来れませんでした。矢ヶ部塾長並びに先生方やスタッフの方々、今まで本当にありがとうございました。（一部抜粋）

日本大学（医－医）合格
宮森創大さん（札幌日本大学高等学校）

私は、中学生から日本大学の付属校に通っており、今回付属校内推薦を使って日本大学医学部に合格することができました。また、私はスポーツにかなり力を入れていたため、一般の受験者とはかなり異なる受験生活でした。そんな中、北大・医大進学塾では私の忙しいスケジュールに合う形で授業を提供して頂き、合格を掴み取る事ができたので本当に感謝しています。

岸田先生の数学の授業は、答案用紙に予習していかなければいけないので、本番を意識し解答を丁寧に書く癖がつきます。授業では、生徒の解答状況を見て時間をかけて解説する問題とそうではない問題をメリハリつけて解説してくれます。また、札医を受けるのであればこの問題は何分以内でしょうなど、問題のレベルと受ける大学の目安を教えてくれることが自分の学力の現状を把握することができてすごく良いです。

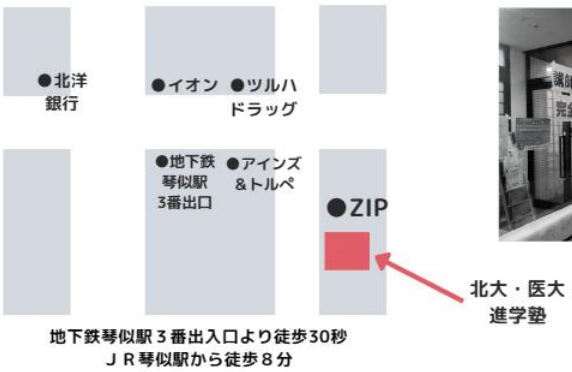
大久保先生の物理の授業では、先生の要点プリントで物理の問題を解く上での基盤となることを教えてくれるので、断然演習問題が解きやすくなります。

品野先生の英語構文の授業は、学校の授業では教えられない、参考書には載っていない、しかし受験では必ず使う構文をかなり沢山紹介し、わかりやすく解説してくれます。長文読解をする上でも以前よりもスラスラ読めると実感出来るはずです。

私の受験生活は一般の人と比べてかなり特殊なものだったので、実際の試験に関してはあまりアドバイスは出来ませんが、北大・医大進学塾に通って授業を受けることで、かなり自分の学力の底上げをすることが出来たと思います。改めてありがとうございました。
（一部抜粋）

マイ・フィロソフィー

受験時代は
誰のものでもない
自分自身のたった一度の
生をみつめ
未来を実現するために得た
貴重な時間だ
自らの計画にしたがって
克己の精神と
勇気をもって
自分自身の生涯をつらぬく
熱いものを
精一杯進いたまえ



講師全員現役医学部医学科生の
完全個別指導も展開中！

北大・医大進学塾

〒063-0811　札幌市西区琴似1条4丁目4－10
TEL/FAX 011-613-2724
http://www.igaku-mps.com

HP　　塾長ブログ